

## 湖沼等水質浄化技術分野の進捗状況及び今後の予定について

### 1 平成19年度の進捗状況

#### (1) ワーキンググループ(WG)開催経緯等

平成19年 4月	実証運営機関として「社団法人日本水環境学会」
	を選定
平成19年10月10日	平成19年度第1回WG開催 ・実証試験中間報告及び意見交換
平成20年 2月 7日	平成19年度第2回WG開催 ・実証試験結果報告書(案)の検討

(WG検討員名簿は資料1-6-2参照)

#### (2) 実証試験状況等

実証運営機関：社団法人日本水環境学会

実証機関：石川県

(実証対象技術)

- ①多機能ガラス発泡体による水質浄化法(H18、H19 実証)
- ②多機能セラミック浄化システム(H18、H19 実証)
- ③高効率オゾン・高濃度酸素溶解装置(H19 実証)
- ④浄化藻床樋による自然浄化工法(H19 実証)

実証機関：大阪府

(実証対象技術)

- ①アオコ制御方法・アオコ制御のための施工装置(H19 実証)

### 2 今後の予定

- ・公募の結果、平成20年度実証運営機関は「社団法人日本水環境学会」を予定。
- ・今後、環境省と実証運営機関とで契約締結後、実証運営機関において実証機関の公募を行う予定。

### 3 実証事業に係る課題事項

#### ○実証事業の運用に関する課題

- ・実証期間を複数年にわたり継続できる制度の検討

実証試験地周辺の自然環境の変化や特異的な自然現象など、実証試験に与える自然条件の影響を考慮すると、当初から複数年にわたる実証期間の設定を検討する必要がある。

平成 19 年度環境技術実証モデル事業検討会  
湖沼等水質浄化技術ワーキンググループ 検討員名簿

秋葉 道宏 国立保健医療科学院水道工学部施設工学室 室長

今井 剛 山口大学大学院理工学研究科 教授

岡田 光正 広島大学 理事・副学長

島谷 幸宏 九州大学大学院工学研究院環境都市部門 教授

福島 武彦 筑波大学大学院生命環境科学研究科 教授